

近代日本経済史

花井 俊介 教授

1 担当教員の専門分野（研究領域）・現在の研究テーマ

- ①近代日本の工業化過程における成長資金の供給構造に関する研究。特に、商人・地主の投資行動（導因）とその機能（投資の効率性）に着目して共同研究を進めている。
- ②近現代日本における在来産業の発展基盤に関する研究。特に地主・資産家で在来産業企業の経営者でもあった者達が、家産と在来的事業投資をいかに調節していたかについて、醸造業に焦点を当てて共同研究を進めている。

2 指導方針

近現代日本の工業化過程について、資本蓄積、金融システム、技術導入・開発、労働力供給、産業組織、企業組織など多面的なテーマを設定し、指導を行う。具体的な指導方法としては、まず各自のテーマに関する研究史の整理を行って、発展させるべき視点、欠落している論点を洗い出すことから始める。その上で、入手可能なデータとそれを踏まえた具体的なアプローチの検討へと進めていきたい。

なお、他の研究指導との重複を避けるために、主に取り扱う時期は明治書期から昭和戦前期までとする。

3 学生に対する要望・その他

困難な課題にぶつかっても抽象的な議論でごまかさず、誰でも理解できる可能な具体的で明快な議論を構築するように努力してほしい。